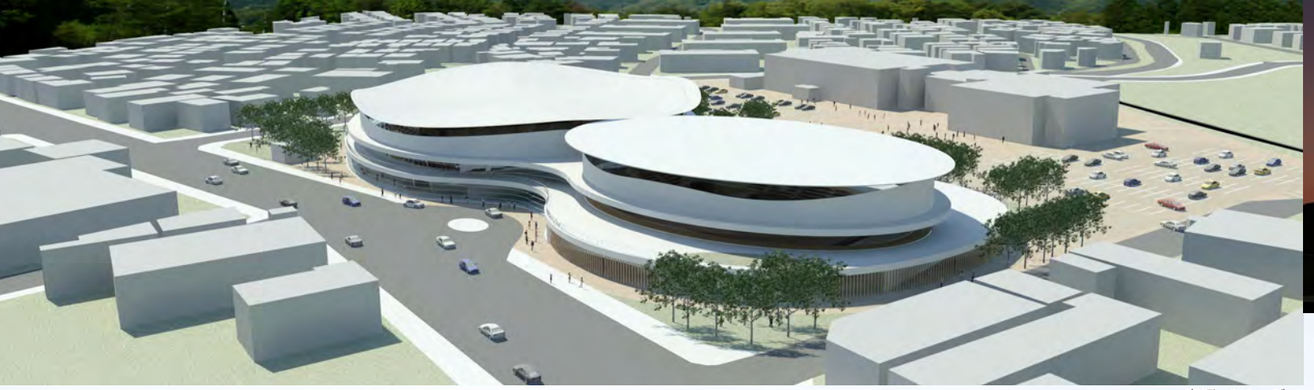
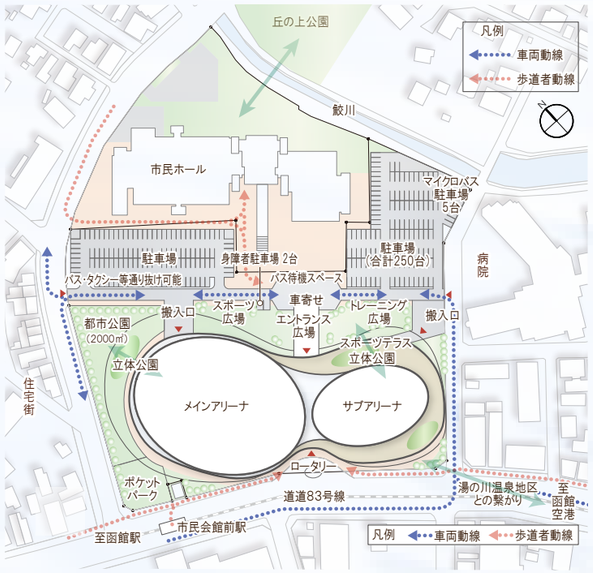


鳥瞰イメージ



配置イメージ

立体公園

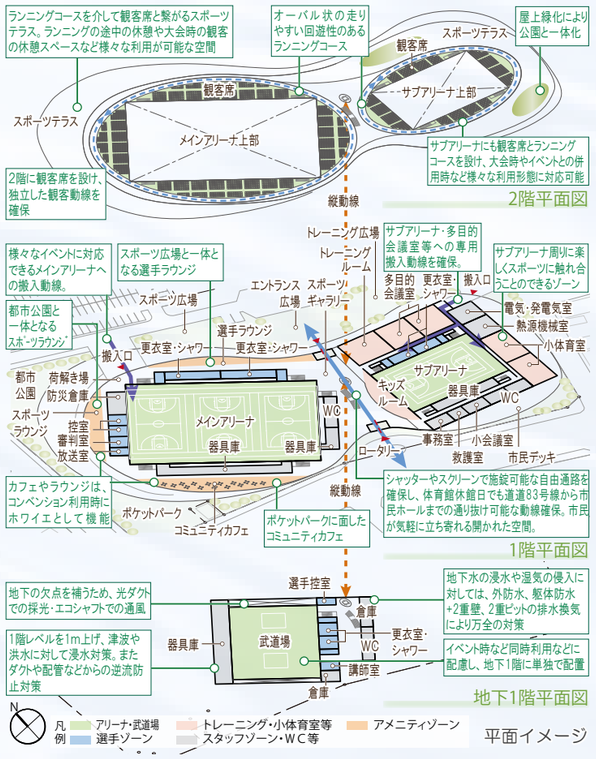
- 東西にメインとサブアリーナを配置し、中央に南北につながるスポーツギャラリーを設けます。スポーツギャラリーは道道８３号線から市民ホールへとつながるゲートウェイ的な開放された歩行者用通路とし、人の流れを誘い活気とコミュニティを生み出します。

柔らかな景観

- 近隣に対して圧迫感のないよう、大きなボリュームのアリーナは隣地境界から離した位置とし、デッキからセットバックすることで、ボリューム感を低減します。

機能的な配置

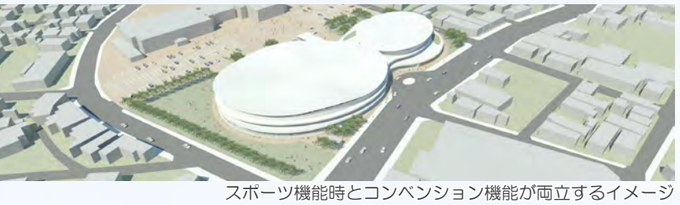
- スポーツギャラリーを介して、イベント時などに市民ホールとの連携を確保する計画とします。
- アリーナ北側にも車寄せを設け、駐車場への動線は東西どちらからもアプローチできるものとし、イベント利用時などの混雑に十分対応できるものとします。



平面イメージ

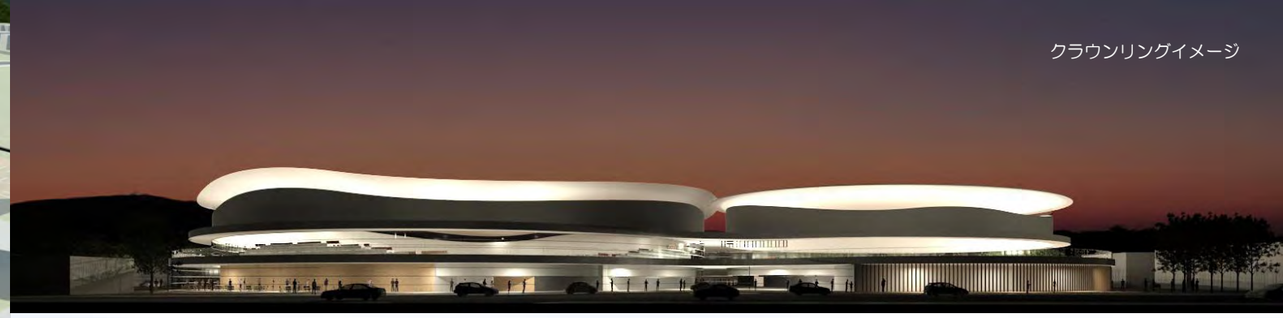
使いやすい矩形の平面

- エントランス部スポーツギャラリーを中心に、メインアリーナ、サブアリーナを配置、上下の動線を集約することで、各アリーナ、観客席、諸室などすべての場所へ自由な動線を確保し、大会運営から日常利用まで、柔軟に対応できる計画とします。
- 走りやすい楕円状のランニングコースを観客席上段に計画します。
- メインアリーナの外周部には、明るく開放的で緑豊かな景色に囲まれたスポーツラウンジ、選手ラウンジ、コミュニティカフェを配置し、スポーツの合間の休憩、仲間同士のコミュニケーションなどがとれる場とします。



スポーツ機能時とコンベンション機能が両立するイメージ

スポーツ機能時のアリーナイメージ



クラウンリングイメージ

スポーツ拠点としての象徴

大会開催の象徴となるクラウンリング

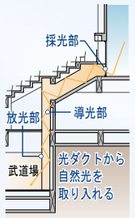
- 昼も夜も輝くファサードを投影するクラウンリング（王冠をイメージした屋根）と巴の曲面（２つの楕円型アリーナ）により、函館らしいスポーツの象徴にふさわしいデザインとします。

誰もが気軽に立ち寄れスポーツできる施設

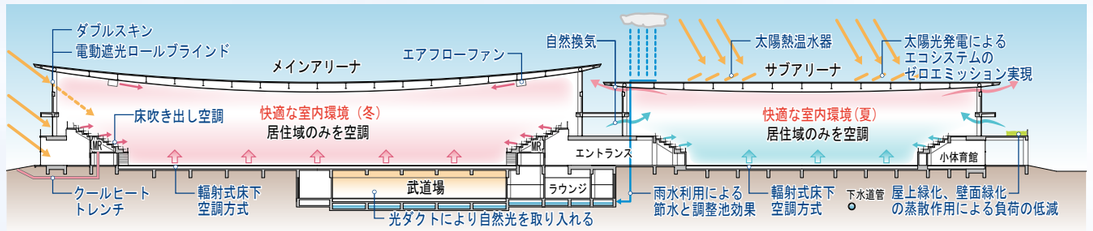
- メインアリーナの外周部には、明るく開放的で緑豊かな景色に囲まれたスポーツラウンジ、選手ラウンジ、コミュニティカフェを配置し、スポーツの合間の休憩、仲間同士のコミュニケーションなどがとれる場とします。
- トレーニングルーム、多目的会議室に面してトレーニング広場を配置して快適な空間でスポーツに親しむことのできる計画とします。

楽しく親しみやすいスポーツラウンジイメージ

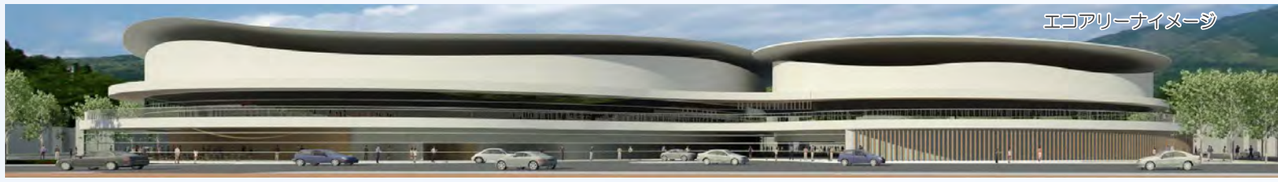
立体公園イメージ



光ダクトイメージ



エコ断面イメージ

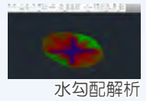


エコアリーナイメージ

エコアリーナ

	建設費の差額（円）	年間エネルギー削減量（円）	回収年数
施設全体の合計	132,000,000	12,655,413	10
施設全体の削減率			30% 削減

各種省エネ手法によるランニングコストの削減量例



水勾配解析

安心・安全の避難施設

制振構造によるハイブリッド地震動制御

- 避難施設として天井材や天井の機器の揺れや損傷、落下は絶対に避けなくてはなりませんが、大スパンの構造物は、絶対量としての変形量が大きく、振幅を剛性の確保により低減するのは限界があります。本施設では、天井面のゆれを低減する制振構造と、天井材や天井取りつけ機器の耐震化のハイブリッド地震動制御システムを採用します。